

	成果	課題
視点1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役割演技が良かった。児童はぼんたの気持ちを場面に沿って考えることができたと思う。</li> <li>・ 先生がかんたになり、児童であるぼんたが悩んでしまう場面を役割演技で十分に自分のこととして考えることができた。</li> <li>・ ぼんた役をさせることで、自分の体験として児童に考えさせることができていた。</li> <li>・ ワークシートに自分の考えを書く活動にきちんと取り組み、自信を持って発表していたところが良かった。</li> <li>・ 子どもたちが自分の思ったことを安心して話している雰囲気良かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役割演技のさせ方を、様々なバリエーションで考える必要がある</li> <li>・ 役割演技をしたことはとても分かりやすかったが、教師はあまり誘導せず、子どもたちの考えをまず出させてから、他の考えはないか聞いても良かったのでは。</li> <li>・ 書く活動は自分の考えを明確にするという良い面と、自由な発言の交流を止めてしまうという両面があると思う。本時では「行く」という考えが出づらかったので、後者の面が表われてしまったのかもしれない。</li> <li>・ 「お母さんに言われたから」と答える児童に、「自分できめた」ということについて、どのように自分の考えを持てるよう支援していくか</li> <li>・ 児童はなぜしてはいけないかをよく分かっていたので、自分で正しいと考え、良いことをするとすっきりしたり、すがすがしい気持ちになったりすることをもっと引き出させると良かった。</li> </ul>
視点2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己の振り返りを行い、その蓄積をしていくということは、道徳の評価につながると思う。1年生でも評価しなければいけないので、有効である。</li> <li>・ 児童自身のためにも、評価のためにも有効である。</li> <li>・ 本時の内容と関連づけたアンケートの内容を導入で取り入れていたのが効果的だった</li> <li>・ ワークシートの内容や量が低学年としてちょうど良い。また毎回積み重ねているところが素晴らしいと思った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何について振り返るのか、ポイントを細かくすると価値により迫れる。しかし、ポイントを絞ることが必ずしも良いとは言えないので、どこまで細かく具体的に問うかが難しい。</li> </ul>

